

経済センサス - 基礎調査に関する研究会（第3回）議事概要

- 1 日時：平成23年9月27日(火) 15:00 ~ 16:30
- 2 場所：総務省統計局6階 特別会議室
- 3 議題：(1)経済センサス - 基礎調査の実施に向けた検討等について
(2)企業ヒアリングの概要について
(3)今後の研究会の進め方について
- 4 出席者：清水座長、廣松委員、森委員、菅委員、経済産業省構造統計室長
統計調査部長、調査企画課長、経済統計課長、経済基本構造統計課長
- 5 議事概要：
 - (1)「経済センサス - 基礎調査の実施に向けた検討等について」事務局より説明後、意見交換
→試験調査の実施方法等に関して概ね了承されたが、オンライン回答期間、調査員の稼働期間等については今後も検討を進めていくこととする。
 - (2)「企業ヒアリングの概要について」事務局より説明後意見交換
→10月までに20~30社から企業ヒアリングを行い、次回研究会において、結果報告を行うこと了承。
 - (3)「今後の研究会の進め方について」事務局より説明後意見交換
→今後の研究会の進め方について了承された。

【主な意見等】

 - 事業所ごとの調査において、オンライン回答期間には調査員による回収は行わないのか。
→オンライン回答期間と調査員による回収期間を並行してしまうと、オンライン回答済みの事業所に対して、調査員が訪問してしまう可能性があるため、オンライン回答期間の終了後、調査員による回収を実施する方向で検討しているところ。
 - 試験調査及び企業ヒアリングの中で、調査員による回収を希望する理由、オンラインによる調査を希望する理由も把握する方が良いのではないか。
 - オンラインでの回答率を増加させることで、調査員の負担軽減を図りたい。
 - 企業ヒアリングの中の意見をどのように本調査に反映させるのか。
→企業ヒアリングの意見の取りまとめを行い、第4回の研究会の中で報告する。企業からは様々な意見が出されると考えられるため、全体を見た上で対処していきたい。
 - 多くの傘下支所事業所を持つ企業にとっては、プレプリントされた傘下支所事業所情報を全て確認するのは大きな負担となると考えられるが、企業側でどのように確認しているのかを把握しておく方が良いのではないか。また、プレプリントの順序を記入者が確認しやすい順序にするなどの工夫が必要である。
- 6 次回開催予定：第4回研究会は、11月開催予定